

## 仕様書

品名・型式	アクトカルディオグラフ MT-610
形状・質量	W250×H265×D205 mm、4.0 kg
電源定格	AC100V、50/60Hz、0.3A
使用目的	<p>外測専用の分娩監視装置として、超音波ドプラ法により単胎児あるいは双胎児の胎児心拍数・胎動の計測、および外測法による子宮収縮(陣痛)を計測し、胎児心拍数・胎動情報から妊娠中の胎児の状態を検査・診断する NST や、胎児心拍数・母体陣痛図曲線との関連において分娩に至るまでの胎児・母体の状態の連続監視に用いる。</p>
機能・性能	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.超音波ドプラ法による胎児心拍数・胎動計測機能を 2 チャンネル装備しており、双胎児の心拍数・胎動を同時計測できる。</li> <li>2.胎動記録は、ドット印字記録、およびスパイク波形記録を有している。</li> <li>3.陣痛は外測法(ストレンゲージ式)により計測できる。</li> <li>4.紙送り速度を 10、20、30 mm/分から設定できる。</li> <li>5.タイマ設定時間が経過するとレコーダ記録を自動終了するオート NST タイマ機能を持ち、タイマは 10 分から 60 分の 10 分刻みで設定できる。</li> <li>6.胎児心拍アラーム機能(頻脈・徐脈)を備えており、警報検出時にはアラームを発する(上限・下限・遅延時間を設定できる)。</li> <li>7.双胎児計測時、一方の心拍数基線にオフセット値を加えて記録する機能を有している。</li> <li>8.陣痛周期の自動算出機能を有し、記録紙への記録ができる。</li> <li>9.記録に先立ち、患者情報・計測日・時刻等をトップシートに印字できる。</li> <li>10.7 インチのカラータッチパネル TFT を有しており、計測値の数値表示又は CTG 情報のトレンド波形表示の 2 画面切替えができる。また、電源 ON/OFF 以外の全機能をタッチパネルより操作が可能である。</li> <li>11.本体内蔵のメモリ機能により、過去 6 時間分の CTG データを自動的に保存できる。また、保存されたデータは印刷又は USB メモリに保存できる。</li> <li>12.本体内蔵のバッテリーにより、AC 電源に接続することなく 30 分以上動作が可能である(100%充電時)。また、バッテリー駆動時の CTG データは内蔵メモリに記録され、AC 電源再接続時に高速印刷で出力できる。</li> <li>13.分娩監視システムとの時刻同期ができる。</li> <li>14.分娩監視装置にバーコードリーダを装備し、計測時にバーコードから患者情報を取得し、TCP/IP 通信により分娩監視システムへ患者情報を自動送信できる。また、計測データにおいても分娩監視システムへの送信ができる。</li> </ol>

## 仕様書

品名・型式	分娩監視コードレスシステム MT-220
構成品	ドプラトランスミッタ・外測陣痛トランスミッタ・レシーバ
形状・質量	ドプラトランスミッタ      74(W)× 25(H)×100(D)mm、 120g 外測陣痛トランスミッタ      74(W)× 25(H)×100(D)mm、 110g レシーバ                      278(W)×112(H)×218(D)mm、 2.8 kg
電源定格	ドプラトランスミッタ      バッテリ電源 外測陣痛トランスミッタ      バッテリ電源 レシーバ                      AC100V、 50/60Hz、 30VA
使用目的	コードレスタイプのトランスジューサ(トランスミッタ)を用いて、超音波ドプラ法による単胎児あるいは双胎児の胎児心拍数・胎動の計測、および外測法による子宮収縮(陣痛)を計測し、胎児心拍数・胎動・陣痛情報から胎児・母体の状態を把握・診断する NST 検査や、胎児心拍数・母体陣痛図曲線との関連において分娩期の胎児・母体の経時連続モニタリングに用いる。
機能・性能	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.920MHz 帯の電波を利用して、トランスジューサと本体間をコードレス化できる。 (技術基準 ARIB STD-T108)</li> <li>2.トランスミッタ(コードレストランスジューサ)とレシーバ、および分娩監視装置の組合せにより、胎児心拍数・胎動・陣痛を計測し記録できる。</li> <li>3.ドプラトランスミッタにより、超音波ドプラ法による単胎児あるいは双胎児の胎児心拍数・胎動を同時計測でき、レシーバに送信できる。</li> <li>4.陣痛トランスミッタにより、外測法(ストレーンゲージ式)による子宮収縮(陣痛)を計測でき、レシーバに送信できる。</li> <li>5.トランスミッタ(ドプラ・陣痛)には、動作状態・電池残量・アラート状態を表示する機能を備えている。</li> <li>6. トランスミッタ(ドプラ・陣痛)には、無線伝送警報・バッテリー残量警報のアラート機能を備えている。</li> <li>7.トランスミッタは、計測開始時のペアリング操作(トランスミッタとレシーバの組合せを認識させる作業)を必要としない。</li> <li>8.トランスミッタは、満充電で 14 時間以上の連続使用が可能である。</li> <li>9.トランスミッタは、分解保守が可能である。</li> <li>10.レシーバは、動作状態・電池残量・アラート状態を表示する機能を備えている。</li> <li>11.レシーバは、無線伝送警報・バッテリー残量警報のアラート機能を備えている。</li> <li>12.レシーバには 3 つのトランスミッタホルダーを装備しており、充電する際には、どのホルダーに収納しても構わない。</li> <li>13.計測データの記録は、分娩監視装置(アクトカルディオグラフ MT-516)に準ずる。</li> <li>14.スイッチ操作で、有線タイプのトランスジューサによる計測への切り替えが可能である。</li> </ol>